

聴覚支援学校の皆さんとの交流

6月20日（金）に聴覚支援学校を訪問し、交流学习を行いました。今年はみんなが楽しめるスポーツを考え、グループ対抗で活動するという内容でした。午前中に訪問し、とても楽しく有意義な活動を行うことができました。

9時前に聴覚支援学校の寄宿舎に到着し、交流学习が始まりました。最初に決めてあったグループごとに自己紹介を行い、その後で自分たちのグループ名や活動する運動の内容を決定する話し合いを行いました。コミュニケーションを行うことが今回の目的の一つでしたが、お互いに大きな声で話をしたり、じっくりと話を聞いたりして進めることができました。

その後、教職員チームを入れた5つのグループで考えたゲームを行いました。握力の合計を目標に近づけるゲーム、じゃんけんで平均台を進むゲーム、指定された道具をペアで探して持ってくるゲーム、ビブスを早く着たり脱いだりするリレーゲーム、升目を使って鬼から逃げるゲームと、それぞれのチームが考えた楽しいゲームを安全に進めることができました。

すべてのゲームが終わった後、閉会式で1位のチームと投票で選ばれた一番面白かったゲームの表彰が行われ、どちらもDチームが優勝しました。最後に全員で記念撮影を行い、交流学习が終了しました。

午後は振り返りを行い、学んだことや感想を書いてもらいました。いくつか紹介します。

○聴覚が不自由な人と思ったより会話ができ、話し合いもできるということを学んだ。

○聴覚に障害があっても、一緒に活動することができることを学んだ。

○聴覚が不自由な人でも、コミュニケーションをして楽しむことができたこと。

○相手の気持ちや立場を考える大切さ。

○障がいなど関係なしでいろいろな人と交流できること。

○難しいからやらないではなく難しいからルールを変えて全員ができるようにすることが大事。

○偏見を持たず接することが大切だと学びました。



先週は道徳でも「多様な個性が尊重される社会を実現するために」という題材で学習しました。ぜひ今後の活動に今回の経験を生かしてほしいと思います。